proceq ディジシュミット ND-1 操作マニュアル



②-1 セットアップ





③ ディジシュミットによる圧縮強度の推定のフローチャート

伸ばします。

ながら先端を離します。

先端(プランジャー)が収納されていますので、 この状態で硬い物に押し当てプランジャーを

収納する場合は、一度打撃し、プランジャーを

奥まで押し込んだ状態でプッシュボタンを押し



ディスプレイとLEMOケーブル、本体とLEMOケーブルを赤いマークの位置に合わせて 差し込みます。 LEMOケーブルの方向はどちらでも構いません。

ケーブルの抜き差しは、写真のように凹凸部を持って行って下さい。







④ テストアンビルによるディジシュミットの精度確認



⑥-1 測定面の平滑化、附着物の除去



⑤ 測定場所の選定



選定場所は、コンクリートの厚さが10cm以上、出隅から5cm以上 離れた場所とし、20×20cm以上の表面に豆板、気泡、砂利など が露出していない平滑な場所とします。 表面に塗装などの仕上げがある場合は除去する必要があります。

⑥-2 測定箇所のマーキング





マーキング後

(仕様により測定点が異なる

場合もあります)



(※「JIS A 1155 コンクリートの反発度の測定方法」より)





⑨ 測定結果

⑦-3で設定した回数を打撃すると全て自動で算出されます。



⑩ 測定結果(個別の測定値確認方法)



MENUボタンを押す

「データアウトプット」選択 STARTボタンを押す 「メモリーヒョウジ」選択 STARTボタンを押す

※複数保存されている場合は↑↓ボタンで 日時などを確認し該当するデータを検索する